

ストーリーの通る卒論

IMRADで卒論全体をイメージする

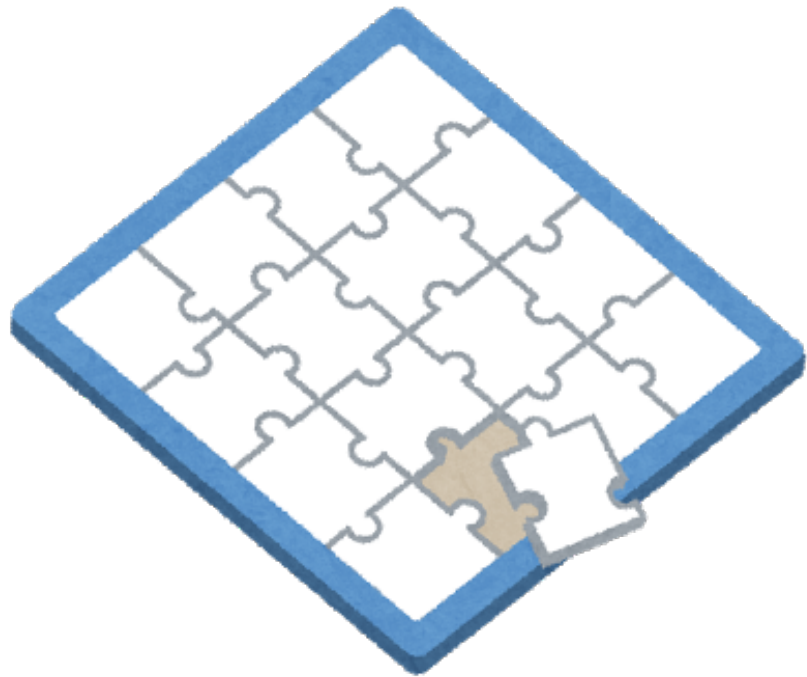
自己紹介

- ・ めのむらたけし
- ・ 大学院生（外国語学部出身です、、、）
- ・ 日本語教育／音声教育
- ・ 卒論のテーマ「学習者間で発音のコツを共有することは発音の改善につながるか」
- ・ 月・水→12：00～14：00
金 →16：00～19：00

自己紹介

- ・ 学年
- ・ 国社、言文？
- ・ 卒論のテーマ（仮） / 興味のあること

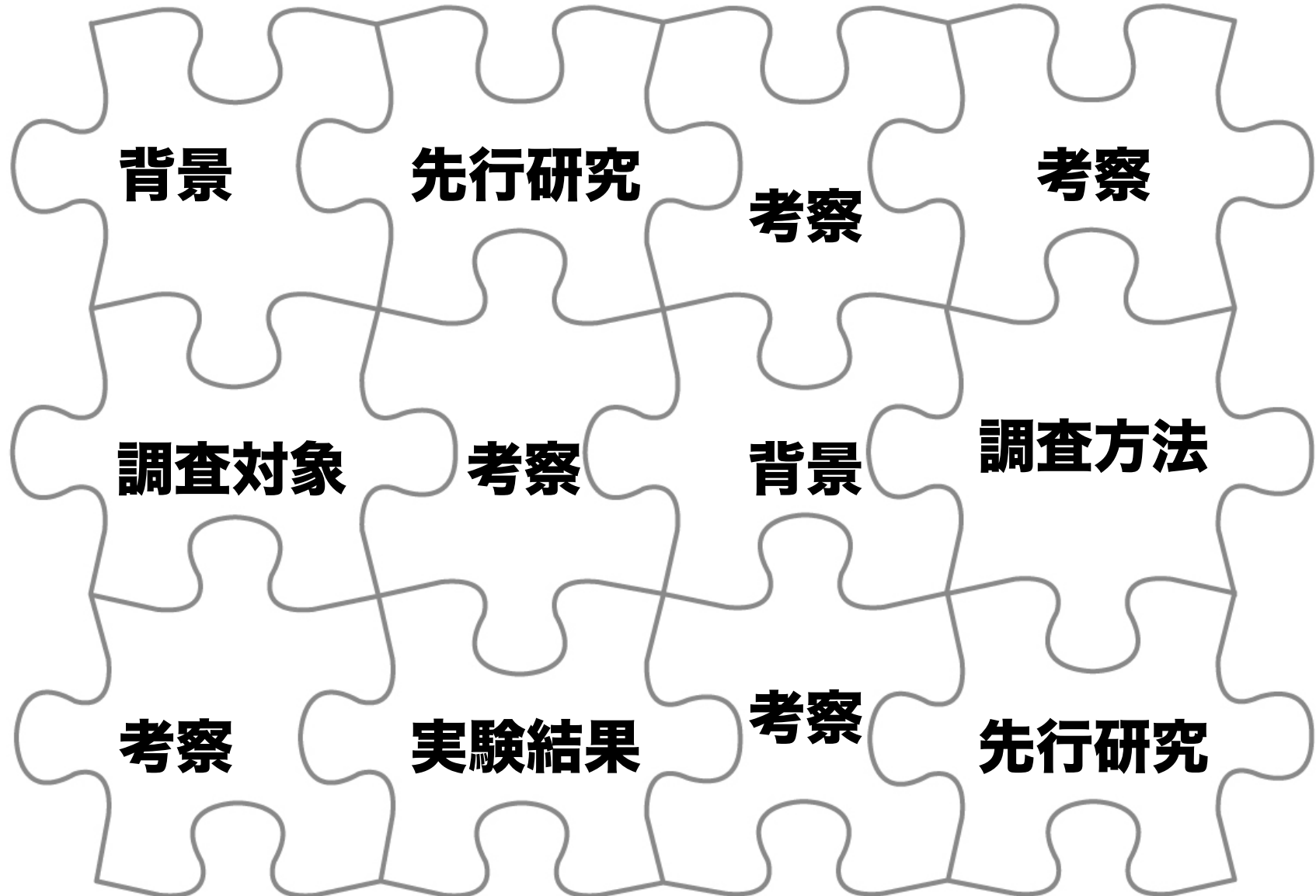
卒論はパズルみたいなもの



卒論はパズルみたいなもの



卒論は積み重ね



英語論文！！

科学論文！！

IMRaD

Introduction

Methods

Results

Discussion

今日やること

- ・ 1 IMRaDとは??
 - 1、M、R、Dで何を書くの？
- ・ 2 IMRaDを使って論文を書く
 -

Introduction

Methods

Results

Discussion

Introduction

Methods

Results

Discussion

その論文を書くに至った背景・新規性

Introduction

Methods

Results

Discussion

調査に用いた手法・オリジナリティ

Introduction

Methods

Results

Discussion

実験・調査で出た結果（データ）

Introduction

Methods

Results

Discussion

結果を元にした議論

Introduction

Introduction

背景・動機

目的

先行研究

自分の調査

Introduction

背景・動機

目的

先行研究

自分の調査

社会的背景・その分野で重要な動向・問題点

Introduction

背景・動機

目的

先行研究

自分の調査

背景を元に自分が何を明らかにしたいか

Introduction

背景・動機

目的

先行研究

自分の調査

従来の研究のまとめ、足りない点

Introduction

背景・動機

目的

先行研究

自分の調査



自分は何を調査するか・どんな結果が出たか

Methods

Methods

いつ

どこで

なにを

どのように

Methods

いつ

どこで

なにを

どのように

調査を行った時期・調査対象の時代背景

Methods

いつ

どこで

なにを

どのように

調査を行った場所・調査対象の地域

Methods

いつ

どこで

なにを

どのように

調査対象となった文献・集団・現象

Methods

いつ

どこで

なにを

どのように

実験・量的調査・質的調査・文献や資料の分析

Results

Results①

観点

発見

図表

例示

Results①

観点

発見

図表

例示

データの何に注目すればよいか

Results①

観点

発見

図表

例示

調査の結果何が明らかになったのか

Results①

観点

発見

図表

例示

グラフ・図で示すとどうか

Results①

観点

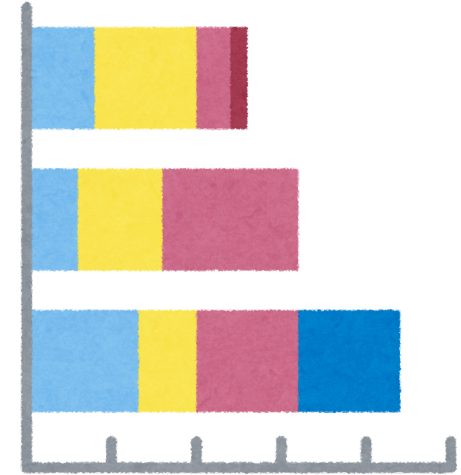
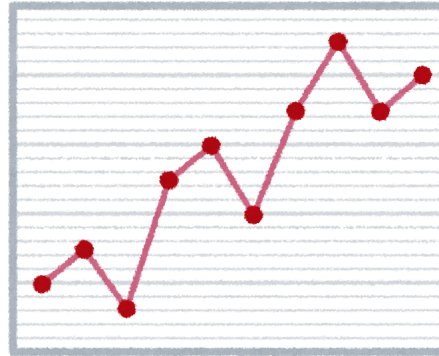
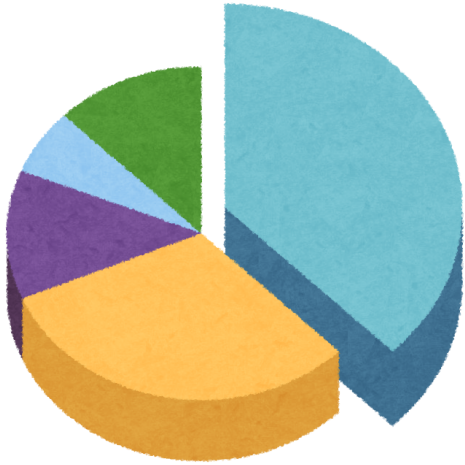
発見

図表

例示

具体的な例はあるか

Results②



グラフ・概念図が何を意味するか
注目すべき数字・箇所

Discussion (Conclusion)

Discussion

自分のたてた疑問
に対する答え

今後検討して
いくべき事項

何ができるよ
うになったか

研究の限界

I

背景・動機

目的

先行研究

自分の研究

M

いつ

どこで

なにを

どのように

R

観点

発見

図表

例示

D

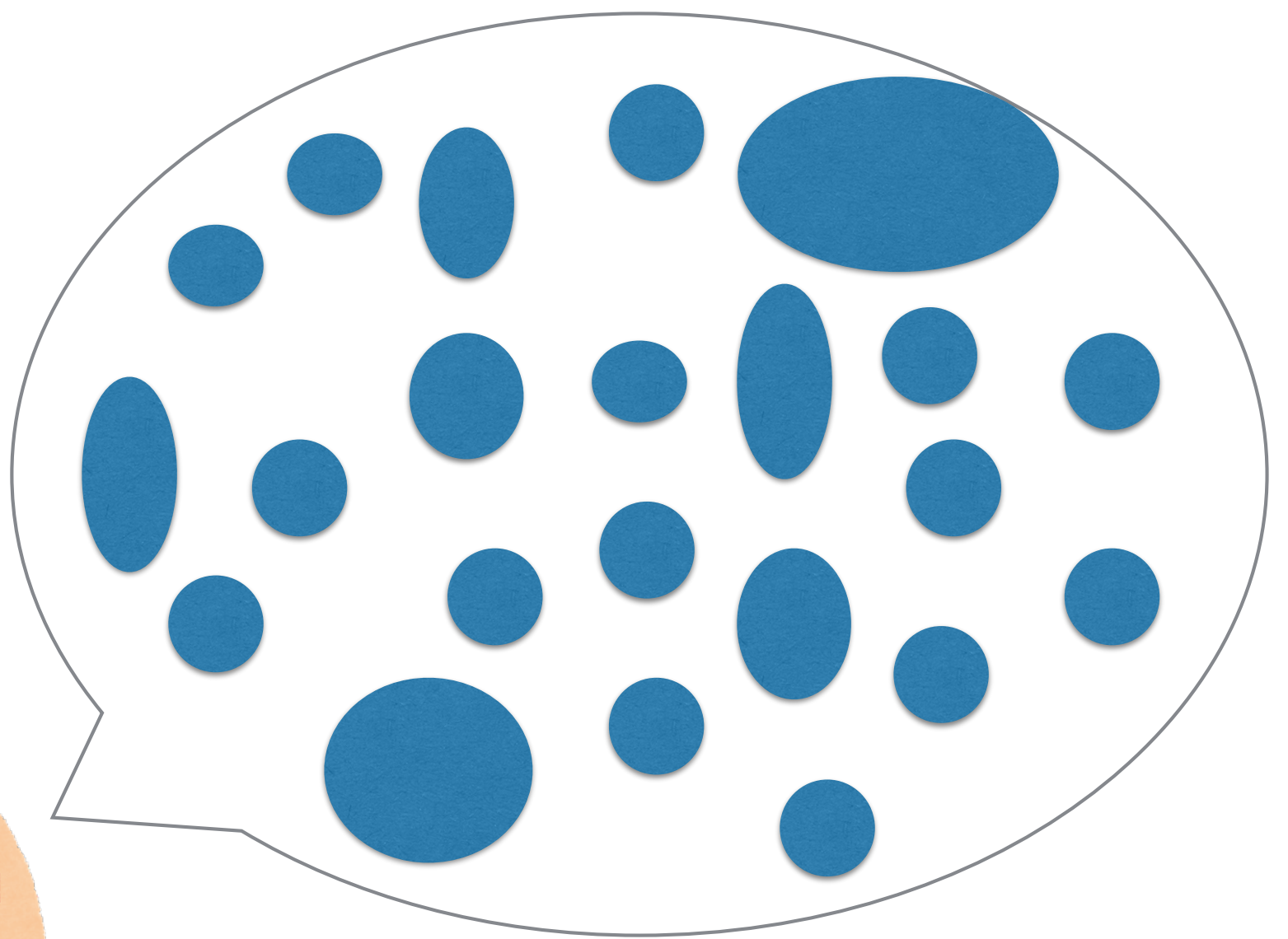
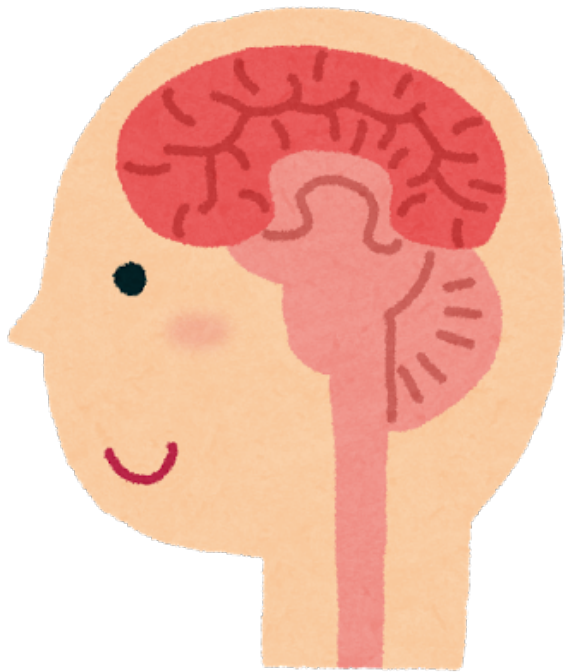
観点

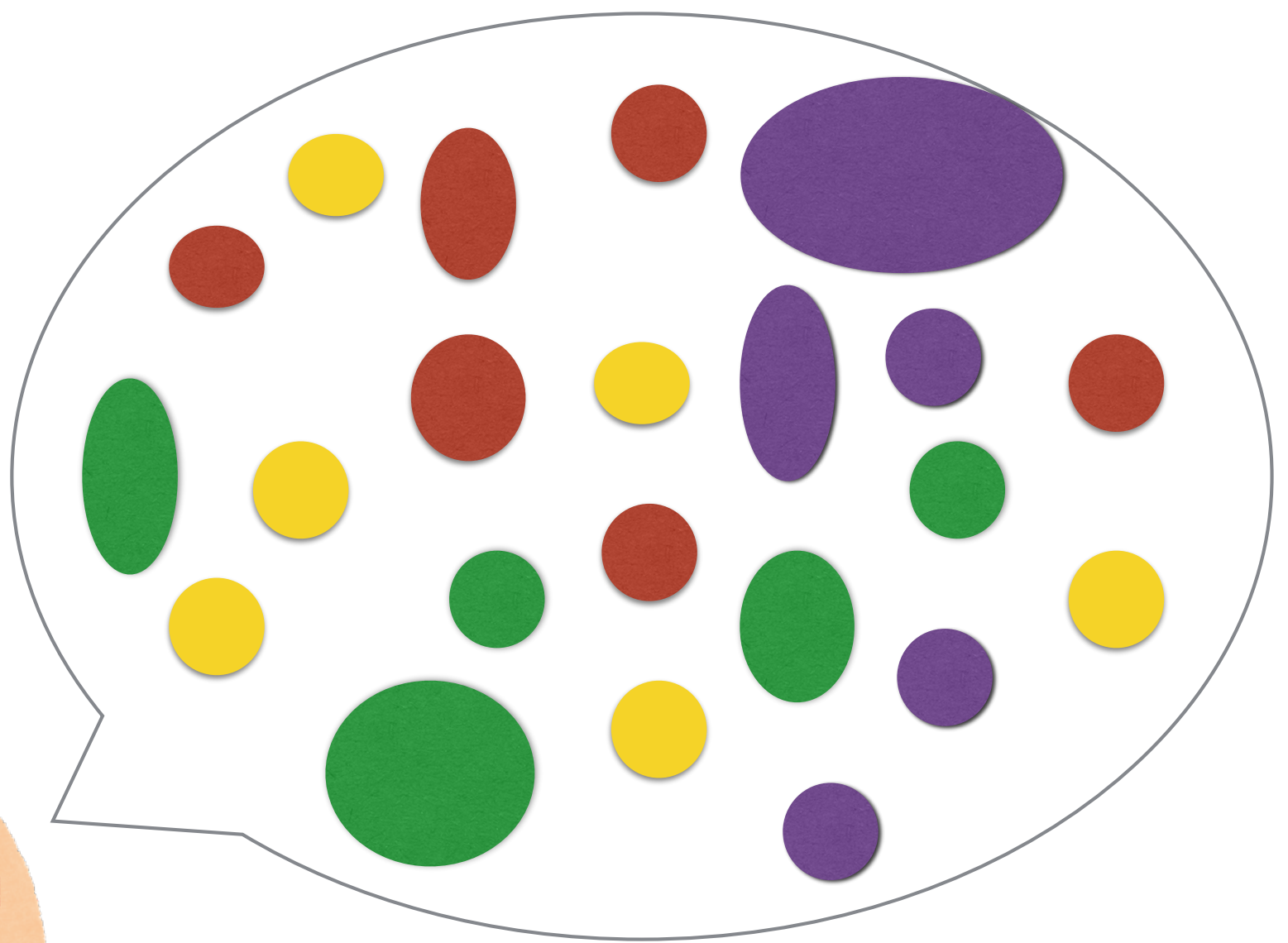
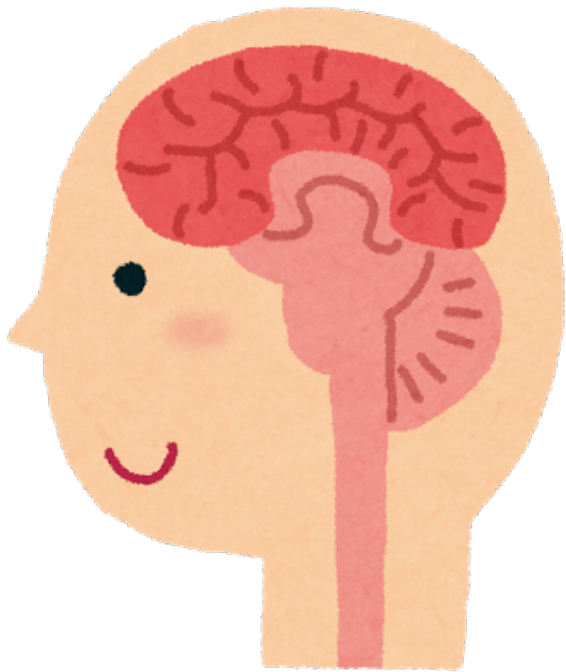
発見

図表

例示

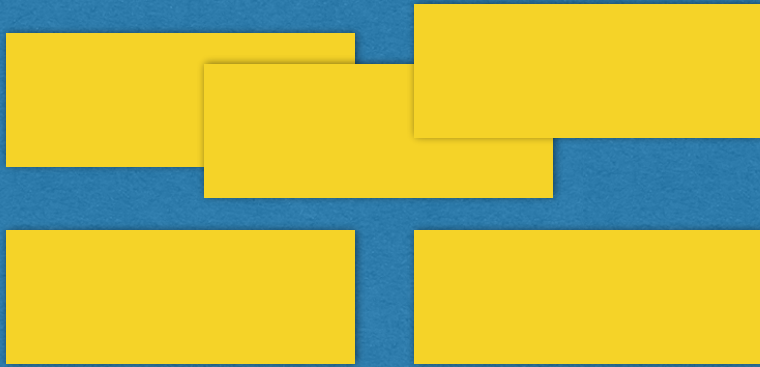
IMRADで卒論全体を
俯瞰する



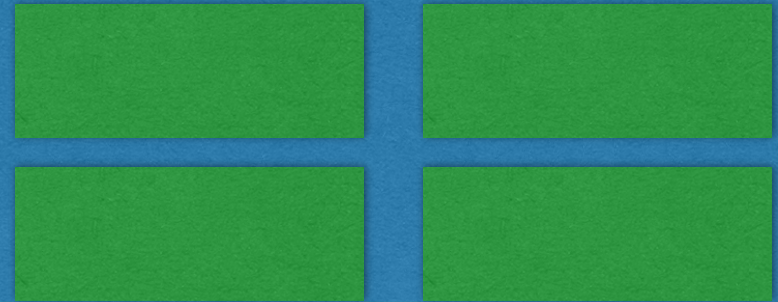


卒論カード

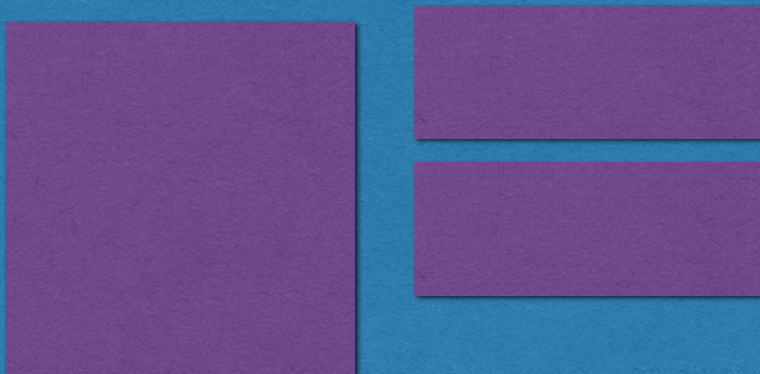
Intro



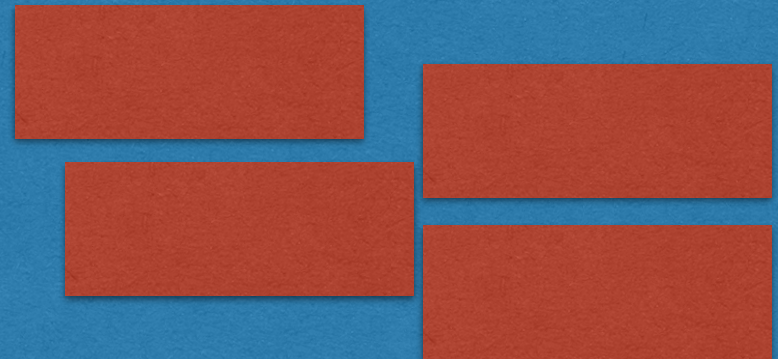
Method



Result



Discussion

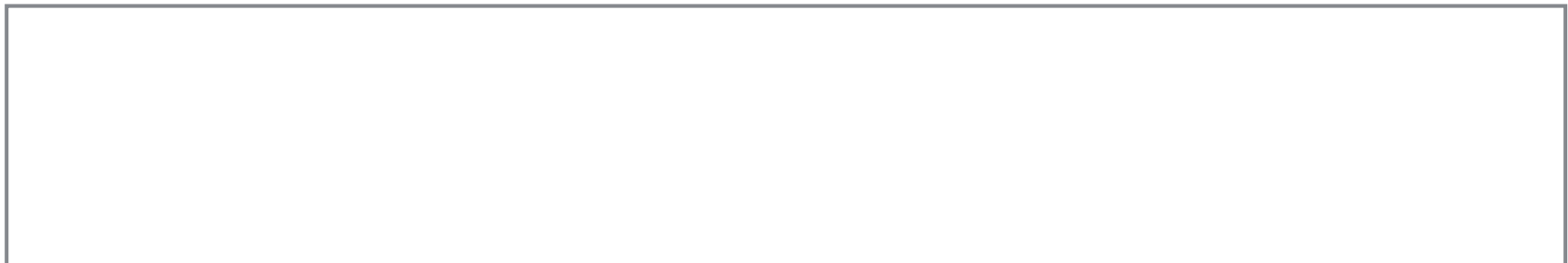


論文に何書く？

スタート

ゴール

論文に何書く？

A large, empty rectangular box with a thin black border, positioned below the title. It is intended for the user to write their answer to the question.A second large, empty rectangular box with a thin black border, positioned below the first box. It is also intended for the user to write their answer to the question.

付箋で構成を俯瞰

注意点！！

- ・ おおざっぱに！
- ・ $I \rightarrow M \rightarrow R \rightarrow D$ の順じゃなくて
もいい
- ・ 話の流れを意識！！

参考文献

- ・ 片山晶子・中嶋隆浩・三品由紀子（2017）『理系学生が一番最初に読むべき！英語科学論文の書き方—IMRADでわかる科学論文の構造』中山書店
- ・ 佐藤雅昭（2016）『あなたはなぜ論文が書けないのか？』メディカルレビュー社

参考サイト

- ・ Yusuke Shinozawa(2014) 「【図解】理系レポート・論文の書き方のフレームワーク IMRADを押さえておこう」
<https://lne.st/2014/07/13/framework-imrad/> (最終閲覧日：2017.10.8)
- ・ かわいいフリー素材集いらすとや<http://www.irasutoya.com>
(最終閲覧日：2017.10.8)
- ・ ニコニコ大百科 「おとしあなのタネ」 <http://dic.nicovideo.jp/a/おとしあなのタネ> (最終閲覧日：2017.10.12)